

## 【発注者側でオーバースペックを防ぐために留意している事例】

工種	オーバースペックを求めるものと見なされる (オーバースペックの提案がなされやすい) 評価項目の設定		対応策	
	工事内容	その理由		
共通	一般土木(トンネル工事) 一般土木(橋梁基礎工事) プレストレスト・コンクリート	コンクリート打設時の外気温が5℃～24℃など一般的な現場条件において、暑中コンクリート、寒中コンクリート対策の提案がなされることが想定される「コンクリートの耐久性向上対策」という評価項目の設定	外気温が5℃～24℃の一般的な現場条件においては、コンクリート標準示方書の記載事項で所定の品質が確保できるため、評価項目でコンクリート耐久性向上対策を求めた際は、過度なコンクリート品質となるオーバースペックな提案がなされる場合がある	例：一般的な現場条件においては、コンクリートの耐久性向上対策を求める評価項目を設定しない
一般土木	コンクリート構造物工事	水門工事において、コンクリート強度の変更(水セメント比の変更等)の提案がなされることが想定される「マスコンクリートの打設時の品質確保を図るための施工方法」という評価項目の設定	河川構造物は、他の一般的な構造物に比べコンクリートの耐久性やひび割れ対策が必要であることから、コンクリートの配合や強度を変更するなど、過度にコスト負担を要するオーバースペックな提案がなされる場合がある	例：コンクリート強度や配合を変更する必要性が認められる場合は、コスト負担が大きいことから、予定価格に反映させる
	橋梁基礎工事	河川での橋梁下部工事において、コンクリート強度の変更の提案がなされることが想定される「コンクリートの施工方法及び品質管理」という評価項目の設定	河川内に設置する構造物は、他の一般的な構造物に比べコンクリートの耐久性やひび割れ対策が必要であることから、コンクリートの配合や強度を変更するなど、過度にコスト負担を要するオーバースペックな提案がなされる場合がある	例：コンクリート強度や配合を変更する必要性が認められる場合は、コスト負担が大きいことから、予定価格に反映させる
プレストレスト・コンクリート		PC橋梁上部工において、地覆及び高欄コンクリートについても高性能AE減水剤を添加する提案がなされることが想定される「コンクリートの充填性やひび割れ抑制等が必要な部位に対する配合及び打設・養生方法」という評価項目の設定	PC橋梁上部工では、部位によりコンクリート打設の作業性が大きく異なるため、通常のコンクリート打設方法で所定の品質が確保される地覆などの部位については、過度なコンクリート品質となるオーバースペックな提案がなされる場合がある	例：コンクリートの配合及び打設・養生方法の提案を求める際は、必要とする部位を限定する
アスファルト舗装		舗装新設工事において、舗装表層の平坦性に過剰な数値設定がなされることが想定される「平坦性の向上」という評価項目の設定	舗装工事において平坦性の向上を求める際は、標準準より厳しい数値の提案などオーバースペックな提案がなされる場合がある	例：舗装工事で平坦性の向上を求める際は、平坦性の上限値の設定や、数値提案を求めるような評価項目は設定しない
浚渫		浚渫工事で整備済みの箇所に排泥するため余水排水処理が必要な場合において、ss・pHを過剰に低減する提案がなされることが想定される「施工上配慮すべき事項(整備済箇所における余水排水処理に関する対策)」という評価項目の設定	排水に関する提案を求める際は、法的に規制されている排水基準よりも厳しい基準で排水を管理するなど、過度にコスト負担を要するオーバースペックな提案がなされる場合がある	例：排水に関する提案を求める際は、排水基準の上限値の設定や、数値提案を求めるような評価項目は設定しない

## 【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

※現場条件、工事特性等により、下記の提案が必ずしもオーバースペックと判断されるわけではない。提案に当たっては、各工事の入札説明書を確認すること。

工種	工事内容	発注者側が設定した評価項目	オーバースペックと見なされる技術提案内容	
			その理由	
共通	一般土木(トンネル工事) 一般土木(橋梁基礎工事) プレストレスト・コンクリート	コンクリートの耐久性向上対策	◇温度条件が一般的な現場において、品質向上のために暑中コンクリート、寒中コンクリートを使用するという提案	品質確保上「コンクリート標準示方書」に品質が確保されるよう対処すべきこととして定められているため
一般土木	コンクリート構造物工事	コンクリートの品質・耐久性向上	◇ひび割れ防止目的のコンクリート混和材料を2種併用し、過大な費用を要する提案	同一の部位において同一の目的で使用する材料の併用や複数の提案を実施することによる改善効果に対して過剰な費用を要すと判断
			◇必要性が低いと判断される部位へのコンクリート混和材料の使用に過剰な費用を要す提案	要求水準に対し過剰な品質・性能を実現するため、高価な材料等の使用や必要性の低いとされる提案の実施に過剰な費用を要すと判断
			◇低発熱ポルトランドセメントの使用に加えて高強度コンクリートに変更し、過剰な費用を要する提案	要求水準に対し過剰な品質・性能を実現するため、高価な材料等の使用や必要性の低いとされる提案の実施に過剰な費用を要すと判断
	河川構造物工事	コンクリートの良好な品質確保	◇品質確保のためにコンクリート強度を変更(水セメント比の変更等)する提案	施工管理基準等の規定以上であり過剰であると判断
			◇品質確保のためにコンクリート強度を変更する提案	設計図書等の範囲を超えたグレードアップであると判断
	トンネル工事	長期耐久性と品質の向上	◇トンネル全線でAE減水剤(高性能・中性能)を採用する提案(目的や施工範囲が明確でない場合に限る)	吹付けコンクリート及び覆工コンクリートにおいて、使用目的及び施工範囲が適確でない場合、過度なコスト負担と判断
◇仮設トンネル全線でAE減水剤(高性能・中性能)を採用する提案			ダム工事の(仮設的な)仮排水トンネル覆工のため(材料、配合に関する提案は評価しない旨、明示)	
◇仮設トンネルで充填性向上を目的とした流動化コンクリートを使用する提案				
	コンクリートの品質・耐久性の確保	◇仮設トンネルで高強度コンクリートを使用する提案		

## 【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

※現場条件、工事特性等により、下記の提案が必ずしもオーバースペックと判断されるわけではない。提案に当たっては、各工事の入札説明書を確認すること。

工種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	
				その理由
一般土木	トンネル工事	長期耐久性と品質の向上	◇トンネル全線で非鋼繊維補強コンクリートを採用する提案(目的や施工範囲が明確でない場合に限る)	
		コンクリートの品質・耐久性の確保	◇仮設トンネル全線で非鋼繊維補強コンクリートを採用する提案	
			◇仮設トンネルでひび割れ抑制ファイバーを使用する提案	
		覆工コンクリートの品質向上対策について	◇コンクリート用ひび割れ抑制ファイバー等を使用する提案	
		覆工コンクリートの品質・耐久性向上	◇養生のための設備に加えて養生剤を併用し、過大な費用を要する提案	
			◇風雨の影響を受けにくい部位を含むコンクリート全面にわたって表面改質剤を塗布し、過剰な費用を要する提案	
			◇仮設トンネルでのコンクリート全面にわたる表面改質剤の塗布に過剰な費用を要する提案	
		断面縮小部の拡幅掘削における品質管理に係わる具体的な施工計画	◇設計図書等の範囲を超えたグレードアップに関する提案(目的及び施工範囲が適確な場合は除く)	
覆工コンクリート施工計画	◇覆工コンクリートに関する事項における設計図書等の範囲を超えたグレードアップに関する提案(但し目的及び施工範囲が適確な場合は除く)			
掘削工及び支保工施工計画	◇掘削工及び支保工に関する事項の内、掘削パターンや掘削補助工法等において設計図書等の範囲を超えたグレードアップに関する提案(但し目的及び施工範囲が適確な場合は除く)			

## 【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

※現場条件、工事特性等により、下記の提案が必ずしもオーバースペックと判断されるわけではない。提案に当たっては、各工事の入札説明書を確認すること。

工種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	
				その理由
一般土木	トンネル工事	長期耐久性と品質の向上		設計図書に明示が無く設計変更の対象となる技術提案は評価しない
		ウォータータイト区間のトンネル掘削工における地山の安定に係わる具体的な施工計画	◇地質条件に伴い設計変更対象となる掘削パターンや掘削補助工法に関する提案	必要以上の補助工法に係わる費用が過度なコスト負担につながるため
		近接施工に伴う計測・観測方法について	◇計測設備を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
			◇専任の計測・観測員を配置する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
		坑口部の掘削に伴う地すべり地形の動態観測・管理体制について	◇動態観測機器を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
			◇専任の監視員を配置する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
		坑口部の地すべり対策箇所における動態観測について	◇動態観測設備を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
			◇専任の監視員を配置する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
		低土被りトンネル施工における計測結果の活用について	◇地表面沈下測定箇所を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
			◇長尺先受け応力測定におけるひずみゲージを増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
		掘削スリ運搬における環境保全対策について	◇機械設備を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
			◇泥落とし装置を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
			◇専任作業員(道路監視員など)を配置する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため

## 【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

※現場条件、工事特性等により、下記の提案が必ずしもオーバースペックと判断されるわけではない。提案に当たっては、各工事の入札説明書を確認すること。

工種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	
				その理由
一般土木	トンネル工事	周辺地域への環境対策に係わる具体的な施工計画	◇周辺環境に対して、環境基準を大幅に下回る必要以上の対策効果を実現する提案	必要以上の周辺環境対策に係わる費用等が過度なコスト負担につながるため
	橋梁基礎工事	太径鉄筋や高密度配筋部を有する橋脚躯体工におけるコンクリート打設方法の工夫について	◇橋脚躯体工のコンクリート打設方法の工夫として高流動コンクリートを使用する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
		コンクリートの施工方法及び品質管理	◇品質確保のためコンクリート強度を変更する提案	設計図書等の範囲を超えたグレードアップに関する提案のため
	地盤改良工事	地盤改良による近接構造物への影響対策	◇設計基準強度を増加する提案	設計図書等の範囲を超えたグレードアップに関する提案のため
		地盤改良の品質確保に係わる具体的な施工計画	◇追加ホーリングの実施等、必要以上の施工管理を行う提案	設計図書等に明示がなく通常設計変更で対応している事項のため
		地盤改良による近接構造物への影響対策	◇追加ホーリングの実施等、必要以上の施工管理を行う提案	設計図書等に明示がなく通常設計変更で対応している事項のため
	築堤護岸工事	盛土工及び護岸工の施工管理について配慮すべき事項	◇追加ホーリングの実施等、必要以上の施工管理を行う提案	設計図書等に明示がなく通常設計変更で対応している事項のため
		運搬作業における土砂飛散防止対策	◇築堤上運搬路をダンプ走行する際は、全て敷鉄板を敷設する提案	施工範囲が適確でない場合は、過度なコスト負担による必要以上の効果であるため
		施工に当たって近隣住民および河川利用者へ配慮すべき事項	◇敷鉄板、鋼矢板等による過大な仮設を施工する等の提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
		工事中的水質汚濁対策	◇排水基準値を大幅に下回る濁水処理施設(薬注施設増加)を設置する提案	過度なコスト負担での設備追加による必要以上の効果であるため
		工事中的濁水等の流出等について配慮すべき事項	◇大規模な濁水処理施設(薬注施設を増加させたプラント)を設置する提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため

## 【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

※現場条件、工事特性等により、下記の提案が必ずしもオーバースペックと判断されるわけではない。提案に当たっては、各工事の入札説明書を確認すること。

工種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	
				その理由
一般土木	築堤護岸工事	狭隘な施工ヤードでの施工上配慮すべき事項について	◇施工延長全体にわたり仮設構台を設置する等の提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
		盛土材料の掘削・運搬にあたって配慮すべき事項	◇河川敷搬入路全区間にわたり舗装を敷設する等の提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
		施工時の施工機械等による隣接する一般家屋への騒音・粉塵等について配慮すべき事項	◇施工区間一連にわたり家屋高相当の防音・防塵壁を設置する等の提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
	砂防堰堤工事	河川水質保全への施工上配慮すべき事項について	◇高度処理施設による水質浄化等	必要以上の対策効果を実現する提案のため
		打継目の越冬時保護対策及び越冬後の打継目処理	◇打設済み堰堤全体を防寒仮囲いにより被い越冬させる等	必要以上の対策効果を実現する提案のため
プレストレスト・コンクリート		PC鋼材の長期健全性を、高い信頼性・確実性で確保するための対策	◇主桁コンクリートについての繊維補強の提案	効果の程度及び範囲が適当ではないあるいは低い ため
		コンクリート(床版(桁)、地覆、壁高欄)の充填性やひび割れ抑止等が必要な部位に対する配合及び打設・養生方法	◇地覆及び高欄コンクリートについて高性能AE減水剤を添加する提案	効果の程度及び範囲が適当ではないあるいは低い ため
		PCケーブル(グラウト含む)の品質・耐久性向上	◇特殊なケーブルの採用に加え特殊なシースを併用し、過大な費用を要する提案	同一の部位において同一の目的で使用する材料の併用や複数の提案を実施することによる改善効果に対して過剰な費用を要すと判断
		PC橋の品質の確保、向上に資する工夫	◇支承鋼材部に重防錆塗装(亜鉛アルミ溶射+フッ素塗装)を施す提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
鋼橋上部工		現場施工の工程管理に係わる具体的な施工計画	◇機種・機械の大型化等、設計図書等の範囲を超えた効率化等を目的とした提案	設計図書等の範囲を超えたグレードアップに関する提案

## 【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

※現場条件、工事特性等により、下記の提案が必ずしもオーバースペックと判断されるわけではない。提案に当たっては、各工事の入札説明書を確認すること。

工種	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	
		その理由	
鋼橋上部工	合成床版の品質管理に係わる具体的な工夫	◇設計図書等の範囲を超えた材料等のグレードアップに関する提案	設計図書等の範囲を超えたグレードアップに関する提案
	鋼橋の耐久性の確保、向上に資する工場製作等における工夫	◇鋼橋全面に増塗りする提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
		◇重メッキを実施する提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
		◇金属疲労への耐性が高い鋼材等を使用する提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
塗装の品質・耐久性向上または保護性さびの形成促進	◇風雨の影響を受けにくい部位も含む上部工鋼材全面にわたって塗装等を追加し、過剰な費用を要する提案	要求水準に対し過剰な品質・性能を実現するため、高価な材料等の使用や必要性の低いとされる提案の実施に過剰な費用を要すと判断	
アスファルト舗装	橋面排水性舗装工の品質確保に関する工夫(防水対策を含む)	◇橋面防水工において全面にわたってシート系防水層を設ける提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
		◇レベリング層において全面にわたって砕石マッシュク混合物(SMA)を使用する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
	軟弱地盤における構造物脇の舗装の残留沈下対策に関する工夫	◇BOX脇路床部の改良に軽量混合土等を使用する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
	工程管理に係わる具体的な方策について	◇機種・機械の大型化等、設計図書等の範囲を超えた効率化等を目的とした提案	機種・機械の大型化等に係わる費用が過度なコスト負担につながるため
	平坦性の向上	◇舗装表層における平坦性に過剰な数値を設定する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
浚渫	施工上配慮すべき事項	◇特に必要性が認められない引船、押船、安全監視船等を過剰に配備する提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
	施工上配慮すべき事項	◇余水排水処理においてss・pHを過剰に低減するための対策を行う提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため